

会計様式第 1

支 出 伝 票																													
会派名	代表者	経理責任者	会計年度	整理番号																									
創犬会	柴田浩行	増田修治	令和 7 年	5																									
支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 1 調査研究費 <input type="checkbox"/> 6 会 議 費 <input type="checkbox"/> 2 研究研修費 <input type="checkbox"/> 7 資料作成費 <input checked="" type="checkbox"/> 3 広 報 費 <input type="checkbox"/> 8 資料購入費 <input type="checkbox"/> 4 広 聴 費 <input type="checkbox"/> 9 人 件 費 <input type="checkbox"/> 5 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 10 事 務 所 費		令和 8 年 3 月 19 日																										
支 払 金 額	<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">金 額</td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> </table>									金 額													1	3	8	2	3	4	円
金 額																													
			1	3	8	2	3	4	円																				
使 途 内 容	会派広報誌印刷費																												
《領収書添付欄》																													

領収書



創犬会 御中

取引年月日：2026年03月19日(木)

下記正に領収いたしました。

領収書番号 [REDACTED]

合計金額 (税込) **138,234円**

ラクスル株式会社



10%対象 138,234円 (内消費税: 12,566円)

〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー19F

登録番号：T9010401089631

注文番号	商品	数量	金額	備考
[REDACTED]	チラシ・フライヤー / A3 / 両面カラー / 光沢紙(コート) / 標準：90kg / 折り加工: 2つ折り(センター折り)	26,000部	125,668円	出荷予定日: 2026年3月19日 たより2026.3

[*]は軽減税率対象であることを示します。

注文内容	商品合計: 125,668円
小計 (税抜)	125,668円
合計金額 (税込)	138,234円

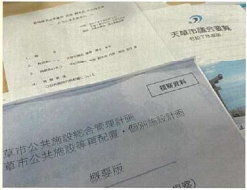
お支払い方法: クレジットカード

お客さまへ (必ずご確認ください)

本書面についてご不明点などございましたらお問合せフォーム (<https://raksul.com/contact/>) からご連絡ください。

先進地視察研修報告

令和7年7月8・9日 熊本県天草市・八代市



天草市は、2市8町が合併し、人口規模は犬山市と同規模、面積が約10倍であり、多数の老朽化した公共施設を保有しています。天草市は人口減少が急速に進む中、小学校は42校を17校、保育園は14園を2園にする等、公共施設再配置・統廃合を急速に進めており、ポートフォリオ評価に基づき廃止基準を明確に決め、効率的かつ効果的な再配置計画を策定しています。今後40年に渡る長期的な将来更新費用推計を算出し、住民にも資料を示しながら理解を得ており、縮小していく人口に合わせた統廃合を進めています。長期的視点に立った公共施設の在り方を当市も考えていくことが重要です。

令和7年11月10・11日 東京都稲城市・調布市

稲城市の介護支援ボランティア制度は平成19年度から実施、推奨すべき手法として、厚労省からも通知がされています。制度は65歳以上の登録者が行なったボランティア活動に対し、ポイントを付与し、ポイントに応じて年間最大5,000円を市から支給するものです。介護ボランティアにインセンティブを持たせ、少しでも多くの方々に参加していただく手段として非常に有効であると同時に、すでに全国705自治体で実践されていることから、こうした制度の導入を推進すべきと感じました。



介護支援ボランティアの様子

令和8年1月28・29日 大阪市(ツルカメO&E棟)、香川県三豊市

市民健康館さら・さくらの将来の運営の在り方を検討するため、温浴施設の運営・コンサルティング等を行うツルカメO&E株式会社と、民間譲渡をされた三豊市のふれあいパークみのを視察しました。直営・指定管理・民営化など運営形態の違いや収益改善の手法について意見交換を行い、民間活用の可能性が確認できました。視察を契機に同社が3月6日に犬山を訪れ現地視察も実施され、具体的な検討につながる一歩となりました。



定例議会一般質問から

～総合犬山中央病院への先端医療機器導入補助について～
Q 令和4年度に補助金要綱が施行されているが、補助を行う考えはあるか。補助を行うのであれば、補助の目的は？市が中央病院に求める役割は？補助金額と財源は？尾北医師会の理解を得ているのか？
A 補助の目的は、先端医療機器の導入による「地域の医療水準の向上」である。そのために市が病院に求めている役割は三点。一点目は救急医療体制の充実。二点目は地域の医療機関との連携の強化。三点目は地域の医療機関と共同利用することで医療資源の効率的な活用を行うこと。補助の対象とする医療機器はMRIと血管撮影装置で、合わせて2億8千万円になるとの見込みである。補助金の額としては1億4千万円になる見込みだが、適正な金額を定めていく。その財源には、「犬山市健康市民づくり基金」を活用する。尾北医師会犬山支部の理事会に対して説明、協議を行い、この補助金に関する賛同を得ているという報告を受けている。



大沢 秀教



※イメージです。

犬山市議会

創犬会だより

発行責任：犬山市議会派「創犬会」
 犬山市犬山大字東畑36
 構成議員：増田修治 光清 毅
 小川清美 堀 竜介
 玉置幸哉 柴田浩行
 大沢秀教
 発行年月：令和8年3月

犬山市の様々な課題に対して日々先進事例などを研究し、実現に向けて提言提案を行っております。



創犬会の主な研究と実現

- ・知寛特攻平和会館連携・平和教育
- ・保健センターの機能強化提案
- ・住宅用エアコン補助金の創設提案
- ・高齢者の健康づくり推進
- ・自主避難所の登録制度創設
- ・コミュニティバスの利用促進



令和7年度の提言を一部抜粋

まちづくり・環境について
 リチウムイオン電池回収対策、五ヵ村津水区整備の推進、観光トイレの維持管理、S A F 普及促進の推進、市街化低未利用地の利活用推進、有機フッ素化合物の対応適及、公園樹木の管理推進、市営住宅入居者の移転推進、丸山地区計画地区編成の見直し検討、地下町内自動車通行誘発推進、空き家の固定資産税特例措置除外提案、公共建築物の維持管理点検強化促進、偏地利用公共施設の返還提案、駒岡辺りボイ捨て防止推進、県道御高犬山段整備の推進、羽黒子ども未来園・犬山幼稚園跡地活用提案、橋爪五郎地区計画の進捗確認

子育て・教育・健康福祉について
 犬山西小・東小の運動場整備推進、児童クラブ・児童センターの整備推進、学習等併用施設の利用推進、オーラルフレイル予防推進、高齢者の健康づくり推進、休日急患診療所改修とオンライン診療提案、やさしいお店制度拡充提案、障害児童通所支援の提案、小規模保育園民間運営提案、学校評価アンケート翻訳提案、知寛特攻平和会館との連携・平和教育、さらさらの湯の今後の在り方提案

歴史・文化・スポーツ振興について
 羽黒中央公園の遊歩道維持管理提案、文字活字文化の振興、図書館の利活用推進、部活動地域移行の課題適及、犬山城防史策強化提案、観光整備促進の資金提案、犬山城宇ツルカメカット導入提案、地域食文化の文化資源活用提案、歴史まちづくり推進

住まい・生活・防災・防犯について
 住宅地盤の安全チェック推進、防災ラジオの配備スケジュール確認、住宅用エアコン助成制度提案、福祉住環境助成制度促進、届け出避難所の導入推進、多子多胎世帯への米配布影響確認、平均身長伸びた中での火災庁大型化提案、ホームインスペクション実施推進、空き家活用推進

産業・農業・地域振興について
 犬山ガストロノミーリズム提案、観光アプリニュートラベルを使った観光施策提案、観光駐車場収入増加提案、産業振興推進、鳥獣害対策行政運営について
 市役所DXに向けた人材育成提案、庁舎内ネットワーク設備強化推進、技術職採用及び定着推進

定例議会一般質問から

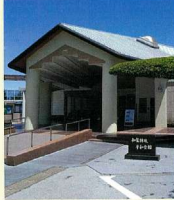
知覧特攻平和会館との連携について

Q 昨年7月に「戦後80年犬山市特別企画知覧特攻平和会館展」が開催されました。特別展示と記念講演が行われ、多くの市民が来場されました。特別企画の成果を踏まえた上で、南九州市と知覧特攻平和会館との連携による平和推進事業に取り組むべきだと提案します。
昨年10月に大沢議長と柴田が南九州市役所と知覧特攻平和会館を訪問しました。市長、議長、館長などと面談し、南九州市・知覧特攻平和会館と犬山市との平和推進事業を通じた交流の継続を依頼しました。

A 中学生平和使節団を知覧特攻平和会館に派遣します。公募により選定した中学生を南九州市に短期派遣し、知覧特攻平和会館や戦争遺跡などを視察します。現地視察によって戦争という史実への関心と理解を深めることで、恒久平和を祈念する思いを抱く人材を育成し、若い世代の平和推進への意識を高めます。



柴田 浩行



～活動の三本柱(住宅・都市計画・文化推進)～

Q (住宅)屋内熱中症が増加傾向にある。また、家庭用エアコンは家庭内電力消費量の多くを占めており、環境負荷も高い。熱中症対策も兼ねて、高効率エアコンに対する助成制度なども検討してはどうか。

A 古いエアコンを高効率エアコンに更新することは電力消費量削減及びCO2削減に役立てられますので、補助制度の見直しを検討します。
*補助制度が8、4に新設されました。

Q (都市計画)公共建築物は法定耐用年数を超える物件も増えてきている。ライフサイクルコストを加味した超長期修繕計画を策定してはどうか。

A ライフサイクルコストの算出は、公共施設の統廃合や再配置、修繕計画を検討する上で有効と考えられますので、次回公共施設等総合管理計画の見直しに合わせ研究を進めて参ります。

Q (文化推進)成人の文字活字離れ・読書離れが社会課題となっている。生涯学習プランも内包した読書活動推進計画の策定を検討してはどうか。

A 「第三次子ども読書活動推進計画」「犬山市生涯学習推進計画」の次回策定時に、成人も含めた推進計画としていくかを検討していきます。



増田 修治



～さらさくらの湯について(11月・2月定例議会)～

Q さらさくらの湯は年間運営費3500万円の赤字があるが少しでも赤字を解消するために市外の方の入浴料金を値上げしてはどうか。

A 市民健康館の今後の在り方と合わせて入浴料金についても検討したい。

玉置の想い
犬山市の財政状況は決して良くない。少しでも市のマイナスを減らすための具体的な提案をしたが問題を先送りした答弁であった。
今後はもっと人口も減り収収も減る予想なので思い切った政策判断が必要である。
当局のやり取りの後、会派としてさらさくらの湯を存続させるため民間の企業に視察に行き、様々なアドバイスやアイデアを頂いた。
このままさらさくらの湯を存続させると、大規模な施設の改修が恒世になるので市民にとってより良い施設にしていきたい。

2月議会

さらさくらの湯は、存続をし市民健康館に保健センターを統合していくと当局より提案があった。市外の入浴料についても値上げしていく。



玉置 幸哉



～1年間の一般質問から～

Q リチウムイオン電池が原因で火災事故がこみ処理施設などで全国的に発生していますが、今後どのような対策を考えていますか。

A リチウムイオン電池が他のごみに混入されないように、市民へのごみの出し方や必要性について周知に工夫していきます。

Q コミュニティバス利用者の安全性と利便性を図るため、商業施設等へのバスの乗入れや特典付与をどのように進めていますか。

A 商業施設等への乗入れについては、現在3施設と交渉を進めています。また、バス利用者が特典利用できる施設を増やすことも検討します。

Q 住まいの身近にある町内会の集会所などを、住民自ら自主的に開設、運営する自主避難所の登録(届出避難所)の導入を進めたらどうですか。

A 運営責任など課題もありますが、先進事例などを研究して、検討していきます。⇒ 令和8年度から導入されることになりました。



光清 毅



～市内DX推進について～

Q DXによる持続可能なまちづくりを進める上では、職員のデジタル人材育成と庁内体制の整備が重要です。そこで、DX推進の組織体制や職員研修、さらに職員が主体的に課題を見つけ改善につなげるボトムアップ型の組織づくりをどのように進めるのか伺います。

A 本市では副市長をCIOとするデジタル化推進委員会を設置し、外部専門人材であるCIO補佐官の支援を受けながらDXを推進しています。
外部人材の伴走支援により業務改善を進めるとともに、3か年計画で職員のスキル向上と自立自走の体制づくりを進めています。令和8年度には各課職員によるワーキングチームを組織しDX事業を企画、令和9年度から事業実施につなげていきます。
畑の想い 今後も専門性を活かし、市民サービス向上につながるDXの推進に積極的に取り組んでまいります。



畑 竜介



県道善野野西北野線の前原未整備区間について

～都市計画道路成田富士入鹿線～

Q 先の愛知県9月定例議会において、県道善野野西北野線の未整備区間について愛知県建設局長から2030年度が完了目標といった発言があった。この道路は、前任の山田市長が在職中に一宮建設事務所と令和10年春の供用開始を確認している。昨年2月の市議会にでも質問したが、完了時期は当初から変更はなく、事業進捗を伺うとのことであったにも拘わらず既に3年程延期である。そこで、現在どのような状況なのか、また、完了時期が令和12年度となった経緯について市はどのように承知しているのか。

A 工事区間の北側では、道路用地内に特定汚染物質による土壌及び地下水汚染が確認されており、道路築造にあわせて全量撤去する計画で、今年度より工事区間を囲む土留めなどの準備工事に着手しています。県の説明では、汚染土壌の除去について、その範囲や深さ、方法などに関する関係部局との調整及び手続さが昨年度末に完了したことから、スケジュールを精査したところ、整備完了までに5年半ほど要するとのことでした。



小川 清美

